



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	21年末株価
NYダウ	31,261.90	8.77	0.03	-2.90	-13.97	36,338.30
NASDAQ	11,354.62	-33.88	-0.30	-3.82	-27.42	15,644.97
日経225	26,739.03	336.19	1.27	1.18	-7.13	28,791.71
上海総合	3,146.57	49.60	1.60	2.02	-13.55	3,639.78
滬深300 (GSI300)	4,077.60	78.00	1.95	2.23	-17.46	4,940.37
ハンセン	20,717.24	596.56	2.96	4.11	-11.46	23,397.67
中国企業	7,121.18	221.99	3.22	4.62	-13.54	8,236.35

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は4.1%高と3週ぶりに反発、上海総合指数は2.0%高

香港市場ではハンセン指数が週間で4.1%高と大幅に3週ぶり反発。16日発表の中国の経済指標は軒並み市場予想を下回る弱い内容だったが、中国政府による景気対策への期待が相場を支えた。ハンセン指数は17日に節目の20000ポイント台を回復。中国人民銀行が住宅ローン金利の下限引き下げに続き、最優遇貸出金利5年物を引き下げたことも好感された。本土市場では上海総合指数が週間で2.0%高と続伸。上値の重い展開が続いたが、5年物金利の引き下げを好感して20日に終値で節目の3100ポイント台を回復した。

今週の展望:香港市場は上値の重い展開か、米国の金融引き締めめに警戒感

香港市場は上値の重い展開か。中国では上海の都市封鎖解除見通しや最優遇貸出金利5年物の引き下げ、李克強首相による景気対策の加速指示など好材料が相次いでいるが、海外市場ではNY市場でダウ平均が90年ぶりに8週続落するなど投資家心理は弱気に傾いている。米金融引き締めによる景気減速への警戒が強まるなか、25日にはFOMC議事要旨の発表が予定されており、NY市場の動向に左右される展開となりそうだ。一方、本土市場はしっかりの展開か。上海の都市封鎖解除後を織り込んだ値動きが予想される。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 舜宇光学科技 (02382)	117.40	20.23
2 招商銀行 (03968)	49.10	15.26
3 BYD (01211)	268.60	13.24
4 碧桂園 (02007)	5.00	13.12
5 信義光能 (00968)	13.50	12.50
6 AIAグループ (01299)	80.85	10.38
7 龍湖集團 (00960)	39.85	9.93
8 碧桂園服務 (06098)	30.80	9.61
9 ネットイース (09999)	156.00	8.86
10 中国生物製薬 (01177)	4.25	8.70

▼騰落率下位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 長江インフラ (01038)	52.65	-4.53
2 サズ・ファイ (01928)	15.30	-2.92
3 創科実業 (00669)	98.05	-2.05
4 安踏体育用品 (02020)	84.00	-1.35
5 ハンセン銀行 (00011)	137.80	-1.08
6 九龍倉置業地産 (01997)	37.65	-0.92
7 テンセント (00700)	352.20	-0.62
8 ファイ・ユコム (00762)	3.69	-0.54
9 中銀香港 (02388)	29.60	-0.34
10 電能実業 (00006)	54.60	0.18

▼今週の主なイベント

- 5月25日(水) 【米国】FOMC議事要旨
- 5月26日(木) 【米国】GDP改定値(1-3月)
- 5月27日(金) 【中国】工業企業利益(4月)

▼今週の期待材料

- ◆上海市府が都市封鎖を段階的に解除していく方針を発表、3段階に分けて6月中下旬には正常化へ
- ◆中国人民銀行が住宅ローン金利の指標金利を0.15%引き下げ、最優遇貸出金利5年物の引き下げは4カ月ぶり
- ◆中国政府が景気対策を強化、李克強首相が経済成長を支える新たな措置を5月中に打ち出すよう指示

▼今週の懸念材料

- ◆中国の4月の経済指標が軒並み大きく悪化、上海の都市封鎖など響き4-6月期GDPはマイナス予想も
- ◆北京で新型コロナの新規感染者数が高止まり、一部地域では行動制限強化により景気への影響に警戒も
- ◆NY市場でダウ平均が90年ぶりに週ベースで8週続落、金融引き締めによる景気減速に警戒感強まる

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ SMIC (00981) : ハンセン指数構成銘柄への採用が決定、6月13日付で発効
- ☆ レノボグループ (00992) : 26日に22年3月本決算を発表、市場予想は67%増益
- ☆ 中国宏橋 (01378) : ハンセン指数構成銘柄への採用が決定、6月13日付で発効
- ☆ JDドットコム (09618) : 「G18」セールを23日から開始、期間は約1カ月間
- ★ チャイナ・モバイル (00941) : 4月の5G加入総数が前月比で75%減少
- ★ 快手科技 (01024) : 25日に1-3月期決算を発表、市場予想は赤字拡大
- ★ 石薬集団 (01093) : 25日に1-3月期決算を発表、市場予想は1%減益
- ★ 瑞声科技 (02018) : ハンセン指数構成銘柄からの除外が決定、6月13日付で発効
- ★ 百度 (09888) : 26日に1-3月期決算を発表、市場予想は96%減益
- ★ アリババ集団 (09988) : 26日に22年3月本決算を発表、市場予想は44%減益

レポートは、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZHが信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZHはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZHで入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZHは、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZHは一切その責任を負いません。

DZHは、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZHおよびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容についてDZHは一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。